



編集者 高橋 英一

法人本部・生活支援センター  
〒314-0016

茨城県鹿嶋市国末1539-1

TEL 0299 (82) 6464

FAX 0299 (83) 3261

鹿島育成園(児童寮及び育成寮)

〒311-2401

茨城県潮来市大賀438-4

TEL 0299 (66) 3439(代)

FAX 0299 (66) 3431

<http://www.kashima-ikuseien.com/>

mail:kaikusei@eagle.ocn.ne.jp

定価

100円



## 春色の心で

センター長 堤 玲

先日、野口雨情の生誕百四十年を記念したコンサート鑑賞しました。「シャボン玉」や「証城寺の狸囃子」「鬼のダンス」「七つの子」・・・、どれも幼い頃に聞いた覚えがあるものの、大人になって久しく耳にしていませんでした。でも、当時の雨情の状況や心情のお話があり、その上で聞いた童謡に、思いがけず胸が熱くなりました。亡くなった母のことがふと浮かんで来、ドキドキ興奮するのは違う、じんわりと心が温まる、そんな感動でした。毎日は、あつという間に過ぎ、特に代わり映えのない日の連続です。そんな中、ちよっとした出来事やかけてもらった言葉が心をほっこりさせてくれることがあります。それが自分を励ましてくれる。小さくても感動がたくさんある日々を、利用者さんに送ってほしいと思います。そして時には、ドキドキワクワクの体験も彼らと一緒にできるといいな。



## 研修報告

## 生活支援センター

主任 貝塚卓弥

2021(令和3)年4月に厚生労働省より施行された「令和3年度介護報酬改定」において、介護事業所でのBCP策定が義務化される事になり、3年間の猶予期間を経て2024(令和6)年4月から完全義務化されます。

BCP(業務継続計画)とは、大地震などの自然災害、感染症のまん延など不測の事態が発生した場合でも損害を最小限に止め、感染症の対策を講じながら利用者の安全を確保し、日常生活に必要な福祉(介護)サービスを継続的に提供していくための方針、体制、手順などを示した計画の事です。計画の策定だけでなく、研修や訓練の実施も義務付けられています。

緊急時の対策としては、防災(消防)計画や水害避難確保計画等も挙げられますが、これらは安全に避難する事

を主として作られています。それに対し、BCPは避難した後、に避難先でどうやって利用者を守るのか、どうやって福祉サービスを継続していくのかという部分を考慮して計画していきます。

BCP策定義務化の背景の一つに東日本大震災が挙げられます。約12年前の2011(平成23)年3月11日、国内観測史上最大規模の大地震「東日本大震災」が発生しました。被災した東北3県(岩手・宮城・福島)では、高齢福祉施設の入居者・利用者485人と施設職員173人の計658人が犠牲になり、大きな教訓になったとの話がありました。施設の職員は、利用者を置いて逃げる訳にはいきません。だからこそ、BCPを作成して訓練を重ね、計画を見直していくというPDCAサイクルを繰り返しながら、職員の防災対応力、危機管理能力を高めていく事が災害から利用者と職員自身を守る一番の近道になると感じました。これまで「災

害は情報と備蓄が大切」という言葉を何度も聞きました。これらの事を踏まえて、必要なものを整備しながらBCP策定を進めていきたいと思えます。

## 個別支援計画から

育成寮 内野比呂

個別支援計画は過大な目標を設定しては、おおよそ達成する事は難しいと感じています。その為、短期的目標、長期的目標を設定し、定期的にモニタリング(評価)を行い、提供した支援が計画通りに実施できているか、想定通りの結果が得られているかを評価し、必要に応じて個別支援計画を変更する必要があるとあります。

自分が担当している利用者の中で、変化が感じられたケースとしては、児童寮から入所してきたAさん、当初は慣れない環境ということもあり破壊行為・他害行為・無断外出等、様々な問題行動がありました。

本人の希望や家族の希望を取り入れ、時には医療機関との連

携を行い個別支援計画の作成を行いました。本人が落ち着ける環境や落ち着いて取り組める作業班を模索していく中で気付いた点がありました。出来ない事を出来るようにするのではなく、得意な事を更に増やすほうが利用者も支援者も負担が少なく楽しみながら問題を解決できるという事です。多人数での関わりが苦手なAさんの為に、少人数の作業班を新たに作り、本人が好きな音楽を作業に取り入れ無理のない範囲で本人のペースに合わせた作業体制にしたり、一人部屋にし、本人が落ち着いて生活できる環境を作ったりと様々な取り組みを行った結果、今現在、Aさんは大きな問題を起こす事もなく、落ち着いて、楽しんで日々の生活を送る事が出来ています。

障害を抱える方々が日常生活、社会生活を安心して豊かに暮らしていく為には、本人と家族のニーズを押さえつつ、本人も支援者もワクワクできる計画を作成し、質の高い適切な支援を行う事が重要だと思います。





多機能型事業所  
アイリス  
あのバーベキューよ。もう一度！

アイリス 内匠 里江子

振り返ると本当にあっという間でしたが、育成園に復職しアイリスに配属されて10年が経ちました。児童寮時代からの長いお付き合いの利用者の方もしらっしゃり、保護者の方と昔話に花を咲かせることも私の楽しみのひとつとなっています。

保護者の方々との交流と言えば、アイリスでは毎年残暑厳しい9月に交流会としてバーベキューを開催していました。ジリジリと焼け付く日差しの下でのバーベキュー。皆汗だくになりながらもお腹一杯食べ、かき氷で一息ついたら2回戦！といった様に、本当に楽しい時間を過ごすことができる特別な日でした。コロナの影響で3年開催できていませんが、交流会の開催を望む声もちらほら聞かれています。今年こそ交流会復活なるか？復活を願い、楽しみに待ちたいと思います。



4月からの抱負

坂内 穂乃花

1月の現場実習では、2回ぐらいイライラしてしまうことがありました。だから、自分の気持ちをいえるようにしたいです。実習では、ミニトマトのパックづめが上手にできました。日中の活動を心をこめて頑張ります。ミニトマトなど家族に作業でしゅうかくしたものを食べてもらいたいです。

作業で野菜を売ったお金をつかってイオンのゲームセンターでゲームをやりたいです。笑顔いっぱいのでいたいです。



新年会

新成人おめでとう  
ございます！！







「てん書」という大変古い書体で書きました。また、「少女像」は、東京の銀座にある画廊で開催したグループ展に出品した絵画です。臨床心理学に興味があるって、思春期の少女が抱える希望と共に、大人になる不安や心の動揺を表現したいと思い描いています。



**育成寮 箕輪 利和**  
毎年、春と秋には、作品展に出品しています。この書作品は「官公書道連盟展」に出品したものです。「東京都知事賞」を受賞いたしました。

## 健康だより

育成寮 山町 京子

健康って何？人の手を借りずに食事が摂れて美味しいと感じる事。人の手を借りずに動ける事等、Nさんが健康に生活できるようにお手伝いができたらなど。先日車椅子使用のNさんが、「おっおっ」と呼ぶので行く目線が一緒に置かれた井の高さと目線が一緒に食べられなかった。食器をスーッ皿に替えたら中身を見て食べられた。長年働いてきた胃腸も疲れてか、体調不良が続くNさんに油分を押さえる食事提供を管理栄養士にお願いし体調不良が続かなくなった。少しずつではあるが、健康に生活できるように気配り、目配りを忘れずに今後も励みたい。



## 24時間テレビチャリティー委員会様より 福祉車両を寄贈いただきました



## 寄付・寄贈・招待



株式会社ダイナム様が鹿嶋市食育クラブわかば主催の「こども食堂クリスマス会」のためにメルヴェイユのクッキー60セットをご購入くださいました。

## 行事予定

3月  
3日 児 ひなまつり  
12日 法人 理事会  
4月  
1日 法人 辞令交付式  
お花見

## 編集後記

広報誌担当になってあつという間に3年が経ち広報誌作成という貴重な経験をさせて頂きました。広報誌作成にあたって原稿依頼等で協力して頂いた皆様ありがとうございました。(中村)

小亀 沢 様 (東京都)  
認定こども園こじか 様 (茨城県)  
㈱カーブスジャパン 様 (東京都)  
公益財団法人 24時間テレビ  
チャリティー委員会 様 (東京都)



今年も株式会社カーブスジャパン様より食品他たくさんご寄付いただきました。グループホームで活用させていただきます。